

一般社団法人日本鉱物科学会 2022年度 定時総会 資料 決算及び事業報告

日時：2023年9月15日（金）14：00～15：15

場所：大阪公立大学杉本キャンパス 全学共通教育研究棟 1階 810室
（〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138）

議長選出：（ ） 会員

開会宣言：

議長は、本日の定時総会が、web会議システムを利用し行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認してから、開会宣言をすること。

定足数の確認：815名×10分の1以上=82人以上 （ ）名

当日(ZOOM参加含) ()人 (ZOOM 人) + 委任状()人 + 書面議決書()人

物故会員への黙禱：^{まるも}丸茂 ^{ふみゆき}文幸 名誉会員，^{しみず}清水 ^{まさひで}正秀 シニア会員，^{たのさき}田野崎 ^{たかお}隆雄 会員

会長挨拶

目的事項

報告事項

- I. 2022年度（一般社団法人第7期）事業報告
（和文誌，英文誌編集，行事，広報，渉外，庶務，Elements，会員，その他）
- II. 2023年度（一般社団法人第8期）事業計画書及び収支予算などの件
その他

決議事項

I. 第1号議案 2022年度（一般社団法人第7期）事業報告承認，決算承認の件
資料：2022年度定時総会資料 決算及び事業報告

1. 2023年度収支予算
2. 2022年度決算報告
 - 1) 貸借対照表
 - 2) 正味財産増減計算書
 - 3) 財務諸表に対する注記
 - 4) 附属明細書
3. 監査報告書

閉会宣言

授賞式

- 一、 日本鉱物科学会賞授与
- 一、 渡邊萬次郎賞授与
- 一、 日本鉱物科学会研究奨励賞授与
- 一、 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与
- 一、 櫻井賞授与
- 一、 JMPS学生論文賞授与
- 一、 日本鉱物科学会表彰授与

報告事項

I. 2022年度事業報告（一般社団法人第7期 2022年8月1日～2023年7月31日）

大和田 正明 会長 挨拶

一言ご挨拶申し上げます。

恒例により、一般社団法人日本鉱物科学会が定款に定める事業の概要を確認します。

本会は、目的として鉱物科学及びこれに関連する諸分野の学問の進歩と普及をはかることを定款第3条に定め、それを達成するため、第4条で次の事業を行うと記しています。

(1) 和文誌（岩石鉱物科学）、英文誌（Journal of Mineralogical and Petrological Sciences）、その他の冊子版、電子版による発行

(2) 総会、講演会、研究部会、その他学術に関する集会及び行事の開催

(3) 研究の奨励及び業績の表彰

(4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2022年度は一般社団法人日本鉱物科学会として第7期です。まだ、気は抜けないですが、コロナ禍がようやく落ち着き、昨年対面での年会在り再開されました。会員の皆様には、こうした困難を乗り越え、学会活動へご協力をいただいていることに心から御礼申し上げます。

長年、鉱物科学会を支えていただいた宮地さんが事務局の一線を退かれ、新たな事務局体制での学会運営がスタートしました。そのため、現体制での運営が軌道に乗るまで、皆様にご迷惑をお掛けすることもあろうかと存じますが、会員の皆様からのご意見に耳を傾けて鉱物科学会の発展に尽力したいと考えています。

今年の年會も、引き続きオンラインとのハイブリッド型式で実施します。コロナ禍を乗り越える過程で、新しい運営方法を模索し、多くの参加者を得て、活発な議論を展開できたことは、LOCの尽力と会員の皆様の協力の賜物です。学問と学会の発展に向かって前進できたことを嬉しく思います。改めて、開催にご尽力をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。

本会の運営は、未だ大変厳しい状況にあります。この間、執行部、理事は、学会事業の見直しを検討してきました。財政の健全化を図るため、学会誌の完全電子化を成し遂げ、さらに事務局と役員業務の改革を進めてきました。学術活動に専念できる体制を整え、会員のみならず、社会にも貢献する活気を取り戻す道筋も見えてきたと思います。引き続き皆様の積極的な参加をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

以下の個別の事業状況については、各業務の各担当幹事等より報告いたします。

(1) 和文誌(岩石鉱物科学)、英文誌(Journal of Mineralogical and Petrological Sciences)、その他の発行事業

【1】和文誌(岩石鉱物科学)編集報告（高澤和文誌編集幹事・委員長）

1. 2022年度第1回和文誌編集委員会

開催日時：2022年12月27日（火）17:00-19:10

開催場所：Zoomにてオンライン開催

出席：秋澤、阿部、江島、大藤、川畑、興野、栗林、斉藤、伴、坂野、星出、宮原、宮地、高澤

委任状：遠藤、栗谷、久保、鈴木、東野、三宅、塚本

欠席：近藤、下林、中村、永嶋、野口、門馬

報告事項 ○掲載状況、○編集状況

審議事項：

(1) GKK印刷組版ソフトの変更について

(2) Mineralogy 2022 ロゴのGKKへの掲載期間について

(3) 早期公開再開について

(4) J-STAGE Dataについて

(5) 依頼原稿の進展確認とカテゴリ担当別話し合い

(6) その他 朝倉書店から書籍の献本について/投稿規定および編集規則の改訂について

2. 2022年度第2回和文誌編集委員会

開催日時：2023年5月15日（月）17:00-18:02

開催場所：Zoomにてオンライン開催

出席：秋澤、江島、遠藤、大藤、川畑、興野、久保、栗谷、栗林、近藤、斉藤、下林、伴、坂野、東野、中村、永嶋、野口、宮原、門馬、塚本、猪狩(GKK編集事務)、高澤

委任状：星出、三宅 欠席：阿部、鈴木

報告事項 ○小宮山印刷工業のGKK編集事務担当の紹介、○掲載状況、○編集状況

審議事項：

(1) GKK投稿論文と依頼投稿のフローについて

(2) 投稿規定および編集規則の改定について

(3) 総説のサブカテゴリ「総説 講義シリーズ：鉱物の物理」の提案について

- (4) カテゴリー別依頼原稿の進展状況について
 (5) その他 卒論・修論の引用について

3. 2023年8月16日～23日に2022年度第3回GKK編集委員会書面審議

4. 2023年5月20日第2回定例理事会 和文誌編集報告編集状況報告 (2023年5月17日現在報告)

51巻1号	件数	頁
原著論文	1件	19p
短報	0件	0p
総説	0件	0p
資料・解説	7件	79p
訂正	0件	0p
合計頁		98頁

1. 編集状況報告 (2022年9月13日～2023年5月20日現在まで)

- (1) 発行状況:
 ○51巻1号 電子ジャーナル1編公開
 ・原著論文「2021年福徳岡ノ場噴火由来のチョコチップクッキー様軽石とSNSを利用した地球科学の可能性・課題について」吉田健太・丸山由・桑谷立
 ○52巻1号 電子ジャーナル3編公開
 ・総説「用語「カリ長石」と「アルカリ長石」について」中野聡志、岡村聡、赤井純治
 ・2021年度受賞記念研究紹介日本鉱物科学会研究奨励賞第31回受賞者「分光学と地質学の融合：光を通じて見る地球内部環境」瀧瀬佑衣
 ・博物館紹介「秋田大学大学院国際資源学研究科附属鉱業博物館—岩鉱分野の展示の見どころ—」西川治
 (2) 現在受理論文 (早期公開中)： 1編 (解説・資料)
 (3) 現在査読中論文： 5編 (解説・資料)

52巻1号	件数	頁
原著論文	0件	0p
短報	0件	0p
総説	1件	9p
資料・解説	1件	8p
博物館紹介	1件	3p
訂正	0件	0p
合計頁		20頁

5. 2023年8月24日第3回定例理事会 和文誌編集報告

52巻1号	件数	頁
原著論文	0件	0p
短報	0件	0p
総説	1件	9p
解説・資料	2件	17p
受賞記念研究紹介	4件	41p
博物館紹介	1件	3p
訂正	0件	0p
合計頁		70頁

1. 編集状況報告 (2023年5月20日～8月22日現在まで)

- (1) 発行状況: 52巻1号電子ジャーナル5編公開 (以下、公開順)
 ・2021年度受賞記念研究紹介日本鉱物科学会応用鉱物科学賞第14回受賞者「先端分析手法を適用した宝石の鑑別技術開発とデータベース構築」阿依アヒマディ
 ・2021年度受賞記念研究紹介日本鉱物科学会研究奨励賞第32回受賞者「海洋マントルカンラン岩から探る海洋リソスフェアの熱化学状態」秋澤紀克
 ・解説・資料「中性子回折実験で探る高温高压下でのSiを含んだhcp鉄の水素化挙動」森悠一郎
 ・2021年度受賞記念研究紹介日本鉱物科学会賞第26回受賞者「超苦鉄質—苦鉄質岩

に着目した物質科学的アプローチによる海洋プレート及び島弧下マントルの形成・進化プロセスの研究」森下知晃

・解説・資料「徹底的な野外調査に基づく小規模深成岩体のマグマ進化および岩体成長プロセス解析」江島圭祐

(2) 現在受理論文： 2編 (短報, 解説・資料) 2023年52巻 早期公開済み・初校校正中

(3) 現在査読中論文： 3編 (総説:1編, 最近の研究から:1編, 勘どころ:1編)

6. 2022年度第3回GKK編集委員会

開催日時: 2023年8月16日～23日 (書面審議)

審議事項: 委員長より以下の提案がなされ、書面審議の結果承認された。

編集委員会が必要と認める時はGKKの本文にカラー文字を使用することができる。ただし、追加の費用は著者負担とする。投稿規定の「3. 本文の体裁」に、「m. 本文の文字色は原則として黒色とするが、編集委員会が必要と認める時はカラーを使用することができる。ただし、カラー文字を使用する場合の追加費用は著者負担とする。」を追加する。

【2】 英文誌 (JMPS) 編集報告 (M. Satish-Kumar英文誌幹事・理事)

1. 2022年9月17日第1回定例理事会報告 英文誌編集報告

2022年5月21日第2回定例理事会報告以降の状況を以下の通り報告いたします。

報告事項

1. JMPS現状報告

1) 投稿数状況: [参考: 表1]

[参考: 表1] WEBシステム利用後の投稿数(2022年8月20日現在)

Month	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
Jan	0	3	2	2	5	2	4	7	5	5	1	1
Feb	0	2	2	1	2	2	0	2	1	0	0	1
Mar	0	2	0	4	2	2	7	3	1	1	5	5
Apr	0	2	3	1	5	3	12	5	5	3	1	1
May	0	4	0	3	5	4	3	4	3	1	0	2

Jun	0	12	6	9	4	3	5	2	3	2	0	3
Jul	0	3	3	8	9	12	9	6	6	5	2	3
Aug	0	5	2	1	7	1	2	2	12	3	5	2
Sep	3	2	1	4	5	2	2	4	2	3	4	0
Oct	16	14	11	16	9	3	4	3	10	2	0	0
Nov	2	5	4	4	5	8	9	18	5	8	2	0
Dec	3	3	2	6	5	2	4	2	5	2	6	0
	24	57	36	59	63	44	61	58	58	35	26	18

2) 編集状況：受理論文4編(印刷中1編, 準備中3編), 査読中:5編,返却中:4編

3) 発行状況：117巻1号電子ジャーナル

原著論文3編, Letter 4編, Technical Note 1編 Editorial Message 1件 計71頁

論文種類	件	Vol 117	件	Vol 116	件	Vol 115	件	Vol 114	件	Vol 113	件	Vol 112	件	Vol 111
Reviews	0	0p	0	0p	5	60 p		0 p			7	75 p	1	3p
Articles	3	37p	23	265p	33	406 p	23	242p	24	255 p	21	221p	30	396 p
Letters	4	23p	8	43p	2	12p	9	48p	9	49 p	12	60p	4	22p
Technical	1	10p	1	5p	1	5 p	1	11p	1	11 p				
Editorial	1	1p		1p		1 p		2p				1 p		1 p
Errata						1 p								1p
規程				3p		3 p		6p		4 p		6 p		4 p
Index				4p		4 p		4p		5 p		4 p		5 p
Contents				4p		5 p		4p		5 p		4 p		6 p
白頁				2p		3 p		1p		3 p		1 p		2 p
合計頁	9件	71 p		327 p		500 p		318 p		332 p		372 p		440 p
1号平均頁				54.5p		83.3 p		53 p		55.3 p		62 p		73.3p

117巻1号(2022年) 2022年5月21日以降の電子ジャーナル公開状況

No	公開日	論文種類	タイトル	著者名
:e001	2022/05/25 Released	Editorial Message		
006	2022/07/30 Released	Original Article	Formation of corundum in direct contact with quartz and biotite in clockwise <i>P-T</i> trajectory from the Sør Rondane Mountains, East Antarctica	----Tomokazu HOKADA, Tatsuro ADACHI, Yasuhito OSANAI, Nobuhiko NAKANO, Sotaro BABA, Tsuyoshi
007	2022/08/09 Released	TECHNICAL NOTE	Determination of the laser-induced damage threshold for graphite and coal with deep-UV micro-Raman spectroscopy	----Yoshihiro NAKAMURA, Koji U. TAKAHASHI, Jun HOSOI, Hidetoshi HARA
008	2022/08/20 Released	ORIGINAL ARTICLE	Association of hydrothermal plagioclase alteration with micropores in a granite: Petrographic indicators to evaluate the extent of hydrothermal alteration	----Takashi YUGUCHI, Yuya IZUMINO, Eiji SASAO

4) 2021 JMPS Impact Factor: **1.041**

(2020⇒0.72, 2019⇒0.764, 2018⇒1.472, 2017⇒1.030, 2016⇒0.409, 2015⇒0.648, 2014⇒0.742, 2013⇒0.656, 2012⇒0.589)

5) 特集号“Recent Advances in Mineralogy, Petrology, Geochemistry and Geochronology in East Antarctica” Guest Editors: Tomokazu Hokada (National Institute of Polar Research, Japan), M. Satish-Kumar (Niigata Univ., Japan) and Tetsuo Kawakami (Kyoto Univ., Japan)が提案され, 臨時JMPS編集委員会で承認された。

JMPS編集委員会

報告事項:

1. 現状報告, 2. 特集号, 3. インパクトファクター, 4. その他

議題:

1. 新体制について, 2. 副編集委員長, 3. Editorial advisory boardと内規について,
4. 著作権について, 5. J-STAGEでのData管理について, 6. その他

2. 2023年5月20日第2回定例理事会報告 英文誌編集報告

2022年11月24日JMPS編集委員会報告以降の状況報告

JMPS 現状報告

1) 投稿数状況: [参考: 表1]

[表1] WEBシステム利用後の投稿数(2023年5月16日現在)

Month	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
Jan	0	3	2	2	5	2	4	7	5	5	1	1	7
Feb	0	2	2	1	2	2	0	2	1	0	0	1	4
Mar	0	2	0	4	2	2	7	3	1	1	5	5	6
Apr	0	2	3	1	5	3	12	5	5	3	1	1	5
May	0	4	0	3	5	4	3	4	3	1	0	2	1

Jun	0	12	6	9	4	3	5	2	3	2	0	3	0
Jul	0	3	3	8	9	12	9	6	6	5	2	3	0
Aug	0	5	2	1	7	1	2	2	12	3	5	2	0
Sep	3	2	1	4	5	2	2	4	2	3	4	5	0
Oct	16	14	11	16	9	3	4	3	10	2	0	3	0
Nov	2	5	4	4	5	8	9	18	5	8	2	6	0
Dec	3	3	2	6	5	2	4	2	5	2	6	13	0
	24	57	36	59	63	44	61	58	58	35	26	45	23

2) 編集状況：本公開準備中：3件 早期公開準備・印刷準備中；2件
査読中：11件 返却中：17件

3) 発行状況：

- ・117巻1号電子ジャーナル
原著論文10編，Letter4編，Technical Note1編 Editorial Message1編 計157頁
- ・118巻1号電子ジャーナル
原著論文8編 Letter2編 計98頁
- ・118巻ANTARCTICA号電子ジャーナル
原著論文2編 計27頁

論文種類	件	Vol 118	件	Vol 117	件	Vol 116	件	Vol 115	件	Vol 114	件	Vol 113	件	Vol 112	件	Vol 111
Reviews	0		0	0p	0	0p	5	60 p		0 p			7	75 p	1	3p
Articles	10	113p	10	123p	23	265p	33	406 p	23	242p	24	255 p	21	221p	30	396 p
Letters	2	12p	4	23p	8	43p	2	12p	9	48p	9	49 p	12	60p	4	22p
Technical	0		1	10p	1	5p	1	5 p	1	11p	1	11 p				
Editorial	0		1	1p		1p		1 p		2p				1 p		1 p
Errata	0		0					1 p								1p
規程	0		0			3p		3 p		6p		4 p		6 p		4 p
Index	0		0			4p		4 p		4p		5 p		4 p		5 p
Contents	0					4p		5 p		4p		5 p		4 p		6 p
白頁	0					2p		3 p		1p		3 p		1 p		2 p
合計頁	12件	125p	16件	157 p		327 p		500 p		318 p		332 p		372 p		440 p
1号平均頁						54.5p		83.3 p		53 p		55.3 p		62 p		73.3p

1) 117巻1号(2022年)、118巻1号(2023年) 2022年11月24日以降の電子ジャーナル公開状況
・117巻1号

掲載番号	公開日	論文種類 タイトル—著者名
015	December 22, 2022	Structural evolution of gypsum (CaSO ₄ ·2H ₂ O) during thermal dehydration—Atsushi KYONO, Ryutaro IKEDA, Sota TAKAGI, Wataru NISHIYASU

・118巻1号

掲載番号	公開日	論文種類 タイトル—著者名
001	January 27, 2023	Serpentinization of forsterite under hydrothermal conditions and controlled synthesis of lizardite—Zhiqiang ZHOU, Hongjuan SUN, Tongjiang PENG
002	January 27, 2023	U-Pb zircon ages of metamorphic rocks and granitoids from the Nagato Tectonic Zone in Yamaguchi, southwest Japan: Implication for the geological correlation with the Kurosegawa Tectonic Belt—Ipppei KITANO, Yasuhito OSANAI, Nobuhiko NAKANO, Ryosuke KATO, Vuong BUI THI SINH
003	January 31, 2023	Determination of orientational ordering of hydroxy groups in kulanite between 120-353 K using single-crystal X-ray diffraction—Ryo YAMANE, Makoto TOKUDA, Kazumasa SUGIYAMA
004	February 28, 2023	New data on S-bearing katoite from Tadano, Fukushima Prefecture, Japan: an implication of the presence of both (SO ₃) ²⁻ and (SO ₄) ²⁻ in the garnet structure—Yasuyuki BANNO, Koichi MOMMA, Ritsuro MIYAWAKI, Michiaki BUNNO
005	March 07, 2023	Hydrocarbon fluid inclusions in authigenic quartz from the Torinosu Limestone at Sakawa town, Kochi Prefecture, Japan—Taro KIDO, Masanori KUROSAWA, Kei IKEHATA
006	March 28, 2023	Effect of acidic microbial polysaccharides on calcium carbonate polymorph formation in hot water at 40-80 °C—Motoharu KAWANO, Jinyeon HWANG
007	April 13, 2023	Identification of fracturing behavior in thermally cracked granite using the frequency spectral characteristics of acoustic emission—Kazumasa SUEYOSHI, Manami KITAMURA, Xinglin LEI, Ikuo KATAYAMA
008	April 22, 2023	Change in size distribution of porewater and entrapped air with progression of water infiltration in sandstone—Tadashi YOKOYAMA, Satoki SHINTAKU, Naoki NISHIYAMA

S001	April 26, 2023	Counter-clockwise P-T history deduced from kyanite-bearing pelitic gneiss in Tenmondai Rock, Lützow-Holm Complex, East Antarctica—Sotaro BABA, Prayath NANTASIN, Atsushi KAMEI, Ippei KITANO et al.
009	April 27, 2023	Syntheses, single crystal structure analyses and ultraviolet light emission of CaW _{1-x} MoxO ₄ (x = 0.0-1.0) scheelite-powellite solid solutions—Kei-ichiro MURAI, Koyumi YAMASHITA, Ginga KITAHARA, Makoto TOKUDA, Akira YOSHIASA
S002	May 12, 2023	Nanogranitoid inclusions with grandierite in mafic granulite from Austhovde, Lützow-Holm Complex, East Antarctica—Yoshikuni HIROI, Tomokazu HOKADA, Tatsuro ADACHI, Kazuyuki SHIRAIISHI, et al.
010	May 16, 2023	Crystal structures of anhydrous borax α -Na ₂ B ₄ O ₇ and γ -Na ₂ B ₄ O ₇ and ab initio quantum chemical calculations of structural stability on their fundamental building blocks—Wataru NISHIYASU, Atsushi KYONO

5) 2022 JMPS Impact Factor:

(2021⇒1.041, 2020⇒0.72, 2019⇒0.764, 2018⇒1.472, 2017⇒1.030, 2016⇒0.409, 2015⇒0.648, 2014⇒0.742, 2013⇒0.656, 2012⇒0.589)

3. 2023年8月24日第3回定例理事会報告 英文誌編集報告

2023年5月18日 JMPS 編集委員会報告以降の状況報告

1. JMPS 現状報告

2) 投稿数状況：[参考: 表 1]

[表 1] WEB システム利用後の投稿数(2023年8月22日現在)

Month	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
Jan	0	3	2	2	5	2	4	7	5	5	1	1	7
Feb	0	2	2	1	2	2	0	2	1	0	0	1	4
Mar	0	2	0	4	2	2	7	3	1	1	5	5	6
Apr	0	2	3	1	5	3	12	5	5	3	1	1	5
May	0	4	0	3	5	4	3	4	3	1	0	2	1
Jun	0	12	6	9	4	3	5	2	3	2	0	3	4
Jul	0	3	3	8	9	12	9	6	6	5	2	3	3
Aug	0	5	2	1	7	1	2	2	12	3	5	2	3
Sep	3	2	1	4	5	2	2	4	2	3	4	5	0
Oct	16	14	11	16	9	3	4	3	10	2	0	3	0
Nov	2	5	4	4	5	8	9	18	5	8	2	6	0
Dec	3	3	2	6	5	2	4	2	5	2	6	13	0
	24	57	36	59	63	44	61	58	58	35	26	45	33

3) 編集状況：本公開準備中：5件 早期公開準備・印刷準備中：2件

査読中：13件 返却中：9件

4) 発行状況：

- ・117巻1号電子ジャーナル
原著論文10編, Letter 4編, Technical Note 1編 Editorial Message 1編 計157頁
- ・118巻1号電子ジャーナル
原著論文11編 Letter3編 計135頁
- ・118巻 ANTARCTICA 号電子ジャーナル
原著論文10編 計168頁

論文種類	件	Vol 118	件	Vol 117	件	Vol 116	件	Vol 115	件	Vol 114	件	Vol 113	件	Vol 112	件	Vol 111
Reviews	0		0	0p	0	0p	5	60 p		0 p			7	75 p	1	3p
Articles	21	285p	10	123p	23	265p	33	406 p	23	242p	24	255 p	21	221p	30	396 p
Letters	3	18p	4	23p	8	43p	2	12p	9	48p	9	49 p	12	60p	4	22p
Technical	0		1	10p	1	5p	1	5 p	1	11p	1	11 p				
Editorial	0		1	1p		1p		1 p		2p				1 p		1 p
Errata	0		0					1 p								1p
規程	0		0			3p		3 p		6p		4 p		6 p		4 p
Index	0		0			4p		4 p		4p		5 p		4 p		5 p
Contents	0					4p		5 p		4p		5 p		4 p		6 p
白頁	0					2p		3 p		1p		3 p		1 p		2 p
合計頁	24件	303p	16件	157 p		327 p		500 p		318 p		332 p		372 p		440 p
1号平均頁						54.5p		83.3 p		53 p		55.3 p		62 p		73.3p

4) 118巻1号、ANTARCTICA号(2023年) 2023年5月18日以降の電子ジャーナル公開状況
・118巻1号

掲載 番号	公開日	論文種類 タイトル—著者名
011	May 18, 2023	Protolith age and metamorphic temperature of the Yokokawagawa metamorphic rocks in Nagano Prefecture, central Japan, and comparison with the Sanbagawa metamorphic rocks — Hiroshi MORI , Tetsuya TOKIWA, Hiroki MIZUMURA, Kohei YOSHIKAWA, Yuki NOBE, Yui KOUKETSU
012	June 30, 2023	Pressure-tuned correlation field splitting in phase A [Mg ₇ Si ₂ O ₈ (OH) ₆] —Masami KANZAKI
013	July 26, 2023	New approach to obtain the correct chemical compositions by absorption correction using analytical transmission electron microscopy —Kiyoshi FUJINO, Naotaka TOMIOKA, Hiroaki OHFUJI
014	July 26, 2023	Experimental synthesis of Fe-bearing olivine at near-solidus temperatures and its decomposition during longtime heating —Naoki HIRAKAWA , Yoko KEBUKAWA, Takazo SHIBUYA, Hisahiro UEDA, Kensei KOBAYASHI

・118巻 ANTARCTICA 号

掲載 番号	公開日	論文種類 タイトル—著者名
S003	May 19, 2023	Boron isotope compositions of coexisting kornerupine and tourmaline in high-grade metabasic rocks: an example from Akarui Point, Lützow-Holm Complex, East Antarctica —Tetsuo KAWAKAMI, Simon L. HARLEY
S004	May 25, 2023	Multiple post-peak metamorphic fluid infiltrations in southern Perlebandet, Sør Rondane Mountains, East Antarctica —Fumiko HIGASHINO, Tetsuo KAWAKAMI, Tatsuro ADACHI, Masaaki UNO
S005	June 01, 2023	Metamorphic age and pressure-temperature conditions recorded in a sillimanite-garnet-bearing pelitic gneiss from Niban-nishi Rock of Niban Rock on the Prince Olav Coast, eastern Dronning Maud Land, East Antarctica: Evidence for Tonian metamorphism —Yuki MORI, Tomokazu HOKADA, Tomoharu MIYAMOTO, Takeshi IKEDA
S006	July 03, 2023	Chemical zoning and crystal size distribution of garnet in a quartzo-feldspathic gneiss from the Lützow-Holm Complex at Skallen, East Antarctica: Implication for geothermometry —Takeshi IKEDA, Saori GOTO
S007	July 06, 2023	The Kuunga Accretionary Complex of Sverdrupfjella and Gjelsvikfjella, western Dronning Maud Land, Antarctica —Geoffrey H. GRANTHAM, M. SATISH-KUMAR, Kenji HORIE, Henriette UECKERMANN
S008	July 14, 2023	Decompressional spinel + plagioclase symplectite from Tenmondai Rock, Lützow-Holm Complex, East Antarctica: Implications for the garnet-aluminosilicate-spinel-plagioclase geobarometer —Toshiaki SHIMURA, Yuki HARADA, Geoffrey L. FRASER, Noriyoshi TSUCHIYA
S009	July 19, 2023	Zircon geochronology of high-grade metamorphic rocks from outcrops along the Prince Olav Coast, East Antarctica: Implications for multi-thermal events and regional correlations —Ippei KITANO , Tomokazu HOKADA, Sotaro BABA, Atsushi KAMEI, Yoichi MOTOYOSHI, Prayath NANTASIN, Nugroho I. SETIAWAN, Davaa-ochir DASHBAATAR, Tsuyoshi TOYOSHIMA, Masahiro ISHIKAWA, Takuma KATORI, Nobuhiko NAKANO, Yasuhito OSANAI
S010	August 10, 2023	High-K adakitic granite in post-Gondwana collisional stage: example for the Vengen Granite, Sør Rondane Mountains, East Antarctica —Masaki YUHARA , Atsushi KAMEI, Yoshinobu KAWANO, Masaaki OWADA, Toshiaki SHIMURA, Kazuhiro TSUKADA

Present status of remaining ANTARCTICA special issue papers

Total manuscripts submitted: 18

Accepted after S010: 4 manuscripts (Krol, Miyamoto, Adachi, Tsukuda)

Under review/revision: 4 manuscripts (Takehara, Suzuki, Hiroi, Satish)

Expected date of finalizing the special issue: October, 2023.

5) 2022 JMPS Impact Factor: 0.7

(2021⇒1.041, 2020⇒0.72, 2019⇒0.764, 2018⇒1.472, 2017⇒1.030, 2016⇒0.409, 2015⇒0.648, 2014⇒0.742, 2013⇒0.656, 2012⇒0.589)

(2) 総会、講演会、研究部会、その他学術に関する集会及び行事の開催事業

以下、各幹事等からの報告は、学会webページ掲載の理事会議事録及び添付の第3回定例理事会概要を参照のこと。

【1】行事報告・年会報告(片山行事幹事)

1. 第2回臨時理事会(2022年12月22日)

2023年年会の運営方法、開催形式等について行事委員会から以下3点が提案され、審議の結果承認された。

- ・要旨提出方法の変更
PDFファイル提出を廃止し、web入力のみとする
- ・決済システムの導入
クレジットカードによる支払いを導入する
- ・大会形式について
また、口頭発表は現地開催とオンライン参加のハイブリッド形式とし、ポスター発表は現地発表のみとすることが報告された。

2. 第2回定例理事会(2023年5月21日)

2023年年会(大阪公立大学)の準備状況について

第1報はメールニュースとしてアナウンスを行った。

年会webページは、主要日程等準備が出来た部分から既に公開している。

本年の年会での変更点については、本理事会での協議題として審議して頂きたい。

3. 第3回定例理事会(2023年8月24日)

2023年年会へ182件の発表申込みがあり、昨年の年会より8件増であること、ならびに、企業の出展が現地3件、バナーによるものが4件ある旨が報告された。現在オンラインでの登録受付中であり、発表者の半数程度であるため、追ってリマインドを行う。本年はYMO企画が復活している。加えて、学生と企業との交流企画および一般普及講演が企画されている。

瀬戸2023年LOC副委員長より、LOCとして順調に準備が進んでいる旨報告された。

道林2024年LOC委員長より、2024年年会について、会場を1年前に予約する予定である旨報告された。

【2】広報報告(大藤広報幹事・理事)

1. 第1回定例理事会(2022年9月17日)

- 1) 広報委員会のHP担当者の決定すること
- 2) SNS利用の件：一例として、会員が著者のJMPS,GKK公開論文をSNSで発信することなど。

2. 第2回定例理事会(2023年5月21日)

1) 雑誌の刊行案内、2023年年会のお知らせ、公募情報、関連学会の催し等の案内などのほか、また、オンライン会員管理システムの導入に関する周知および登録方法の説明を記載した。

2) 学会HPおよび公式SNS(Facebook, twitter), YouTubeを通じた広報活動。

学会ホームページの更新は宮地さんにご担当いただき、学会事務連絡、学術雑誌の刊行案内、公募情報、関連学会の催し等の案内などの周知を行った。また、公式SNSにおいてもそれらの情報を発信し、また会員関係者から依頼のあった周知情報の発信を行った(催し・お知らせ1件ほか)。YouTubeチャンネルでの公開動画も徐々に視聴回数上昇中。今後も新たな動画を配信予定。

3) 学会新HPの作成と公開準備

これまで長年、学会ホームページを管理・運営していただいた宮地さんの退職に伴い、各委員会・幹事レベルで更新・管理・運営が可能な新HP(WordPress形式)の作成を株式会社アクセライトへ依頼し、現在も打合せを重ねて完成を目指している。4月中旬にデザインやコンテンツを取りあえず確認できるHP案を提出いただき、その後5月1日にオンラインミーティングを行い、変更・修正や更新の方法について説明を受けた。現在、広報委員を中心にレイアウトの整備やコンテンツの確認、修正作業を詰めており、来月中を目途に公開(現行HPから移行)予定。

4) 地学オリンピック「地球にわくわく未来ガイド」への広告掲載

地学オリンピック参加者へ配布する冊子「地球にわくわく未来ガイド」に日本鉱物科学会の紹介広告を掲載した。

5) JpGU2023における現地ブース展示

日本地球惑星科学連合2023年大会JpGU2023(幕張)において、3年振りに現地ブース展示を行う予定。

3. 第3回定例理事会(2023年8月24日)

(1) 会員へのML送信

事務局の宮地さんおよび猪狩さんより、2022年9月の総会以降、現在までに12件の会員宛メールニュースを配信いただいた。内容は、学会関連連絡(学術雑誌の刊行、オンライン会員管理システム運用、HPリニューアル、Elementsオンライン購読への変更、2023年年会情報など)のほか、公募情報、関連学会の催し等の案内など。

(2) 学会新ホームページ、公式SNS、Youtubeを通じた広報活動

学会ホームページのリニューアルを行った。新HPはWordPress形式で、今後は広報委員会を中心に更新・運営に対応する(HPのコア部分やサーバー、アカウントの保守管理は株式会社アクセライトと年次契約)。旧ページからほとんどのコンテンツを移行し、英語版ページも整備済み。WordPress形式となり、簡便かつ迅速に更新、情報発信ができるようになり、今後も拡充して行く予定。また、公式SNS(twitter, Facebook)でも情報発信を行い、公式Youtubeチャンネルにも一般・入門者向けや教材用の動画を追加・公開した(現在21本の動画を公開中)。

(3) 2023年連合大会で現地ブース出展

JpGU2023において4年振りに現地(幕張メッセ)でブース展示を行った。鉱物標本の展示を行い、クイズラリーにも参加し景品としてヒ

スィ輝石とスピネルの結晶を提供した。

(4)取材申込みの対応

マスメディア、民間団体などからの問い合わせや取材申込みに対して、適当な会員に対応をお願いするなどの取り次ぎ・調整を行った。(共同通信社など)

【3】渉外報告（永島渉外幹事・理事）

本年度は特に報告事項はありません。

【4】Elements報告（瀬戸Elements幹事、大和田会長、井上副会長）

1. 2022年12月22日第2回臨時理事会報告

井上副会長より、Elements誌の現状と編集体制の変更などについて、12月1日に開催されたExecutive Committee Virtual Meetingの概要が報告された。

過去3年間に発生した編集体制の問題は解決し、発行の遅れは取り戻されつつある。ただし、Elements誌も財政上の問題を抱えており、対応について検討されている。

今後の対応は、会長、副会長、Elements幹事に一任し、対応を進めることが確認された。

2. 2022年5月21日第2回定例理事会報告

大和田会長より、5月10日に開催されたExecutive Committee Virtual Meeting について報告された。JAMSからは参加していないが、議事メモが送られてきた。赤字への対応策として、冊子体から電子版へ切り替える方針が承認されたとのこと。EマガジンPreview形式を採用する。JAMSとして電子化への反対はしない。電子版の会員への配信方法について照会があった。

JAMS財政問題とかかわるため、電子化による経費削減状況を注視する必要がある。引き続き、情報収集、検討を続ける。

瀬戸Elements幹事より、発行状況ならびにSociety newsの準備状況について報告された。昨年の発行遅れについては、順調に遅れを取り戻しつつある。

3. 第3回定例理事会（2023年8月24日）

大和田会長より、Elements誌の状況について、電子媒体のみでの配布へ切り換えていく方向である旨報告された。

瀬戸Elements幹事より、Society News原稿は順調であること、JAMS会員の住所変更とオンライン配布への切替手続き、発行スケジュールの回復状況について報告された。本年中には発行の遅れは回復する見通しとのこと。

（3）研究の奨励及び業績の表彰（磯部庶務幹事・理事）

【1】2022年度日本鉱物科学会賞表彰

第27回受賞者：山口 亮 会員（国立極地研究所）

業績題目「初期太陽系における分化天体の進化に関する鉱物科学的研究」

第28回受賞者：芳野 極 会員（岡山大学惑星物質研究所）

業績題目「地球惑星内部物質の電気伝導度に基づく核及びマントルダイナミクスの研究」

【2】渡邊萬次郎賞表彰

第39回受賞者：豊 遙秋 永年会員

【3】2022年度日本鉱物科学会論文賞表彰

該当なし

【4】2022年度日本鉱物科学会研究奨励賞表彰

第33回受賞者：西山 直毅 会員（産業技術総合研究所地質調査総合センター）

研究対象：地質媒体中の物質移動と岩石-水相互作用に関する研究

第34回受賞者：松本 徹 会員（京都大学白眉センター/大学院理学研究科）

研究対象：地球外試料から探る宇宙風化に伴う固体物質の進化

【5】2022年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞表彰

第15回受賞者：杉浦 悠紀 会員（産業技術総合研究所）

受賞題目：「術後感染症防止機構を付与した骨再生材料の開発」

【6】櫻井賞表彰

第46回受賞者：富岡尚敬 会員（海洋研究開発機構）

対象鉱物：秋本石

【7】2022年度JMPS学生論文賞受賞論文表彰

第15回受賞論文：Crystal structure of nesquehonite, $MgCO_3 \cdot 3H_2O$ by neutron diffraction and effect of pH on structural formulas of nesquehonite. JMPS v.116-2, p.96-103, 2021

Authors: Gen-ichiro YAMAMOTO, Atsushi KYONO, Jun ABE, Asami SANO-FURUKAWA and Takanori HATTORI

受賞者：山本 弦一郎（投稿時：筑波大・D1）

第16回受賞論文：Tracht change of groundmass pyroxene crystals in decompression experiments. JMPS v.117, 003 (6p), 2022

Authors: Shota H. OKUMURA, Satoshi OKUMURA and Akira MIYAKE

受賞者：奥村 翔太（投稿時：京都大・D2）

【8】2022年年会研究発表優秀賞表彰

第62回受賞者：鈴木康太（京都大学大学院理学研究科）

R8-12 後期新原生代ーカンブリア紀の超高温変成岩体の熱源：ジルコン中の昇温期メルト包有物の化学組成からの制約

第63回受賞者：谷脇由華（愛媛大学大学院理工学研究科）

S1R6-10 ジルコンメルト包有物を用いた花崗岩質岩体の定置深度見積もり：中新世御内岩体の例

第64回受賞者：下岡和也（愛媛大学大学院理工学研究科）

S1R6-11 西南日本愛媛県梶島に分布する珪長質岩の鉱物・全岩化学組成

第65回受賞者：菊池星南（東北大学大学院環境科学研究科）

S2-08 鉱物溶解に及ぼす天然キレート剤の促進効果に関する基礎的実験

（4）本会の目的を達成するために必要な事業

【1】庶務報告（磯部庶務幹事・理事）

1) 2022年度幹事会、理事会開催、準備、調整、監査立ち合い

（日時調整、議題作成、議事録作成、総会招集通知資料作成、発送、総会議事録作成、理事会会場準備、ZOOM会議準備）

第1回定例理事会ハイブリッド開催：2022年 9月17日(土) 17:30～19:00：新潟大学総合教育研究棟 B棟3階 B351

第1回臨時理事会ZOOM開催：2022年10月18日(火)16:00-18:05：山口大学理学部 大和田研究室

第2回臨時理事会ZOOM開催：2022年12月22日(木)17:00-19:03：山口大学理学部 大和田研究室

第2回定例理事会ZOOM開催：2023年 5月20日(月)16:00-18:27：山口大学理学部 大和田研究室

第3回定例理事会ZOOM開催：2023年 8月24日(木)15:00-17:30：山口大学理学部 大和田研究室

一般社団法人日本鉱物科学会監査立ち合い：2023年 8月24日(木)10:00-11:00 於：日本鉱物科学会事務局

2022年度定時総会ハイブリッド開催：2023年9月15日(金)14:00-15:15 於：大阪公立大学杉本キャンパス 全学共通教育研究棟

2) 連合への各種対応

3) 後援、共催、協賛の承諾

4) 会員への連絡

5) 表彰に関する件：令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞、若手科学者賞および研究支援賞受賞候補者の学会内推薦について、「技術賞」への推薦を行った。

6) 一般社団法人定時社員総会「招集通知」の電磁的方法(メール等)採用への同意お願い

7) 一社)日本鉱物科学会2022年度定時総会(2023/09/15開催)の事前お知らせ

8) 理事会、総会の開催準備 召集、資料作成、議事録作成

9) 事務局管理：事務局委託に関わる対応。

学会事務局業務の外部委託については、法人2021年度より準備を進め、3社に委託業務を示して交渉を開始した。うち2社から見積を得た上でそれぞれ複数回の打合せ、交渉を行った。この間の経過については第1回臨時理事会(2022年10月18日)で説明した。同臨時理事会において、小宮山印刷工業(株)と事務局業務委託契約に向けて協議を開始することを決定した。

その後、業務委託契約を締結し、2023年4月1日より同社へ事務局業務を委託している。なお、法人登記上の所在地に変更はない。

GKKおよびJMPS編集業務、会員管理システム運用を含め、引継は順次進めており、順調に進捗している。

会員管理システムの更新等については、会員宛メールニュース等で逐次周知した。

10) 法人役員交代による法人変更届資料作成、理事兼業申請、各幹事・委員会委嘱依頼、兼業申請

11) 2022年度 役員 各委員会委員報告

<理事(22名)>

会長(代表理事)：大和田正明、副会長(代表理事)：井上 徹

理事：阿部なつ江、池田 剛、磯部博志、大藤弘明、鍵 裕之、亀井淳志、川本竜彦、河上哲生、興野 純、栗林貴弘、黒澤正紀、高澤栄一、辻森 樹、土屋範芳、富岡尚敬、永井隆哉、永嶋真理子、坂野靖行、M.Satish-Kumar、三宅 亮

監事：下林典正

<幹事会>

会長：大和田正明、副会長：井上 徹、庶務幹事：磯部博志(理事)、会員幹事：阿部なつ江(理事)、会計幹事：栗林貴弘(理事)、行事幹事：

片山郁夫、和文誌編集幹事：高澤栄一、英文誌編集幹事：M.Satish-Kumar(理事)、渉外幹事：永嶋真理子(理事)、広報幹事：大藤弘明(理事)、Elements：瀬戸雄介、特務幹事(細則等検討担当)：井上 徹(理事)、地球惑星科学連合2022年度学会選出プログラム委員：西原 遊(正)

・福土圭介(副)、地惑連合連絡担当：阿部なつ江(理事)、三鉱連絡委員：磯部博志、片山郁夫

<行事委員会>

委員長：片山郁夫(行事幹事)、副委員長：瀬戸雄介

委員：越後拓也、寺崎英紀、湯口貴史、吉村俊平、額綱佑衣

<岩石鉱物科学編集委員会>

委員長：高澤栄一(和文誌編集幹事)、副委員長：興野 純

委員：秋澤紀克、阿部なつ江、江島輝美、遠藤俊祐、大藤弘明、川畑 博、久保友明、栗谷 豪、栗林貴弘、近藤 忠、斉藤 哲、下林典正、鈴木庸平、中村美千彦、永嶋真理子、野口高明、伴 雅雄、坂野靖行、東野文子、星出隆志、三宅 亮、宮原正明、門馬綱一、塚本尚義

<JMPS編集委員会>

委員長：M. Satish-Kumar(英文誌編集幹事、理事)、副委員長：永井隆哉、河上哲生、門馬綱一

委員：伴 雅雄、Kaushik Das、濱田麻希、福山蘭子、市山祐二、加藤文典、河野元治、額綱佑衣、小木曾哲、栗林貴弘、興野 純、三河内岳、永嶋真理子、大藤弘明、奥寺浩樹、篠田圭司、下林典正、隅田祥光、角替敏昭、宇都宮聡、吉村俊平、Dr. Betchaida D. Payot、Prof. Sajeev Krishnan、Dr. Sujoy K. Ghosh、Prof. Peng Peng、Prof. Luca Bindi、Dr. Stuart J. Mills、Dr. Dan Dunkley

<渉外委員会>

委員長：永瀧真理子(渉外幹事・理事)
委員：宇都宮聡(環境)，川添貴章(高圧)，栗谷 豪(火山)，辻森 樹(地質)，森下知晃(岩石)

<広報委員会>

委員長：大藤弘明(広報幹事・理事) (HP担当)，
委員：斉藤 哲 (JpGUブース展示担当)，石橋秀巳 (Twitter担当)，浜田麻希 (Facebook担当)，延寿里美 (Youtube担当)，磯部博志 (庶務幹事)

<Elements 委員会>

委員長：瀬戸 雄介 (Elements幹事)，副委員長：東野文子
委員：宇都宮聡，奥村 聡，片山郁夫，興野 純，小松一生，新名良介，橋 省吾，寺崎英紀，
中野伸彦，門馬綱一，横山 正 (サイエンスボード)

Society News Editor：瀬戸 雄介

Executive Committee Member：大和田正明(会長)

学会役職指定委員：磯部博志(庶務)，高澤栄一(GKK)，M. Satish-Kumar(JMPS)，片山郁夫(行事)，永瀧真理子(渉外)，大藤弘明(広報)

<将来企画委員会>

委員長：井上 徹(副会長)，副委員長：大藤弘明
委員：森下知晃，阿部なつ江，鍵 裕之，中村美千彦，河上哲生，中野伸彦，永瀧真理子
諮問に係る幹事：磯部博志 (庶務幹事)，栗林貴弘 (会計幹事)，高澤栄一 (和文誌編集幹事)，M.Satish-Kumar (英文誌編集幹事)
オブザーバー：大和田正明(会長)

<細則等検討委員会>

委員長：井上 徹 (特務幹事細則等検討担当)
委員：角替敏昭，川本 竜彦，亀井淳志，黒澤正紀

<新鉱物・命名・分類委員会>

委員長：門馬綱一
委員：上原誠一郎，小林祥一，清水正明，白勢洋平，浜根大輔，坂野靖行，豊 遙秋，松原 聡，宮脇律郎

<教育普及委員会>

委員長：林信太郎，委員：貴治康夫，宮嶋 敏，川手新一，川本竜彦

<博物館委員会>

委員長：坂野靖行，委員：宮脇律郎，森 康，三河内 岳，上原誠一郎

<防災教育担当委員>

林信太郎

<日本鉱物科学会賞選考委員会>

委員長：辻森 樹，副委員長：桂 智男
委員：鍵 裕之，大藤弘明(理事)，小暮敏博，宮脇律郎，西山忠男，野口高明，奥地拓生，海野 進，大和田正明(会長)

<渡邊萬次郎賞選考委員会>

委員長：掛川 武 副委員長：永井隆哉
委員：(2期目継続委員4名)：阿部利弥，安東淳一，掛川 武(委員長)，斉藤 哲
(1期目委員4名委員長指名)：永井隆哉，鍵 裕之(理事)，坂野靖行(理事)，永瀧真理子(理事)

<日本鉱物科学会論文賞選考委員会>

委員長：浜根大輔 副委員長：佐野亜沙美
委員：(2期目継続委員5名)：池田 剛(理事)，興野 純(理事)，栗林貴弘(理事)，浜根大輔(委員長)，松影香子
(1期目委員5名委員長指名)：佐野亜沙美(副委員長)，秋澤紀克，遠藤俊祐，斎藤哲，三宅亮 (理事)

<日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会>

委員長：栗谷 豪 副委員長：片山郁夫
委員：(2期目継続委員5名)：栗谷 豪，福山繭子，阿部なつ江，岡本 敦，門馬綱一
(1期目委員5名委員長指名)：片山郁夫，富岡尚敬(理事)，亀井淳志(理事)，川野 潤，瀬戸雄介

<日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会>

委員長：興野 純 副委員長：池田 進
委員：(2期目継続委員5名)：興野 純，磯部博志，北脇裕士，栗林貴弘，鈴木正哉
(1期目委員5名委員長指名)：池田 進，奥寺浩樹，川野 潤，中塚晃彦，森本和也

<櫻井賞選考委員会>

委員長：松原 聡 委員：清水正明，坂野靖行，宮島 宏，宮脇律郎

<研究発表優秀賞選考委員会 (2023年5月20日第2回理事会承認，8月24日第3回理事会委員交代承認)>

1期目委員：秋澤紀克(副委員長:委員長指名)，額瀨佑衣，延寿聡美，松本恵，苗村康輔
2期目委員：瀧川晶(委員長)，田阪美樹，白勢洋平，伊神洋平，足立達朗*
(2期目委員任期：2023年9月16日まで；*足立委員は第3回理事会で承認)

<2023年年会運営委員会>

委員長：篠田圭司，副委員長：瀬戸雄介
委員：福田惇一，奥地拓生

片山郁夫行事委員会委員長，瀬戸雄介行事委員会副委員長

<2024年年会運営委員会>

委員長：道林克禎
委員：額綱佑衣，加藤文典，丹羽健文，丹羽美春
片山郁夫行事委員会委員長，瀬戸雄介行事委員会副委員長

<名誉会員推薦委員会>

委員長：小山内康人
委員：土山 明，吉朝 朗，大和田正明，阿部なつ江

12) 2022年度定時総会についての第3回定例理事会（2023年8月24日）審議事項

1. 日時：2023年9月15日(金) 14:00-15:15

場所：大阪公立大学杉本キャンパス 全学共通教育研究棟 1階 810室

- ・現地出席者は会場にてZOOM画面スクリーン投影も見る。
- ・現地出席以外の理事・監事・幹事を含む報告者は，説明義務があるのでZOOMで出席する。
- ・現地出席以外の総会出席予定の会員は， ZOOM Meetingで出席する。
- ・欠席予定者には，代理人によってその議決権を行使する委任状又は書面による議決権の行使を通知する。

2. 社員総会の目的事項（報告事項，決議事項）について

(1) 2023年度一般社団法人第8期事業計画紹介（大和田会長）

(2) 総会の報告事項，決議事項について（2022年度総会資料 決算及び事業報告）(磯部庶務幹事)

目的事項

報告事項

I. 2022年度（一般社団法人第7期）事業報告（和文誌，英文誌編集，行事，広報，渉外，庶務Elements，会員，その他）

II. 2023年度（一般社団法人第8期）事業計画書及び収支予算などの件

その他

決議事項

I. 第1号議案 2022年度（一般社団法人第7期）事業報告，決算承認の件

資料: 2022年度定時総会資料 決算及び事業報告

1. 2023年度収支予算

2. 2022年度決算報告 1)貸借対照表 2)正味財産増減計算書 3)財務諸表に対する注記 4)附属明細書

3. 監査報告書

授賞式

一、日本鉱物科学会賞授与

一、渡邊萬次郎賞授与

一、日本鉱物科学会研究奨励賞授与

一、日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

一、櫻井賞授与

一、JMPS学生論文賞授与

一、日本鉱物科学会表彰授与

【2】将来企画委員会報告

1. 第2回臨時理事会（2022年12月22日）において設置された将来企画委員会（委員長：井上副会長）から，以下の報告がなされた。

5月16日15:00より，オンラインで開催した将来企画委員会での議論について，議事録に従って次の通り説明があった。

(1) JMPSについて，科研費研究成果公開促進費へ申請することとする。

(2) 寄付金を募る努力を始める。若手育成等，使途を明確にすることを検討する。

(3) Elementsはすぐに脱退よりも維持しつつ収入増を目指す方向で議論する

学生会員の会費一括納入の学生バックを導入しては，

寄附に加え，目的を明示したクラウドファンディングはどうか。

学会会員のメリットをわかりやすく示し，会員増と共に収入を増やすため，取り組みやすいことから始め，検討を継続する。提案等があれば，ご連絡頂きたい。

2. 第3回定例理事会（2023年8月24日）報告

寄付金の募集が学会ホームページに掲載された。

科研費「研究成果公開促進費-国際情報発信強化B」について，現在申請書類を準備中である。

【3】JpGU 2022年学会選出プログラム委員報告（西原委員長）

第2回定例理事会（2023年5月21日）

JpGU2023において学協会セッションとして「鉱物の物理化学」，「岩石・鉱物・資源」が開催された。

【4】地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）

本年度は特に報告事項はありません。

【5】学術会議・IMA小委員会報告（西山学術会議連携会員）

第2回定例理事会（2023年5月21日）

IMAメダル委員会委員は，東北大辻森会員が任期満了により退任し，広島大井上会員が就任した。

IMA博物館委員会にて，2028年の M&M11 に中国が立候補検討中である旨報告された。

Commission of Physics of Minerals の活動が報告され，再編と活動見直しが行われた。執行部が交代し，Chair に Paola Comodi 氏が，Vice chairに愛媛大土屋旬会員が就任した。

サブセッションが見直された。4サブセッションが設定された。うち二つに，東北大大藤会員，愛媛大土屋会員が参加している。

IMA評議会においてCPMの活動について評価が行われ，それに対する対応として「認知度の向上」および「活動・サービスの向上」を目指すこととなった。

IMA Councilでは，1st vice president に東北大大谷会員が就任した。次期Presidentに選出の見通し。Councilors には，大藤会員が加わる。

次回IMAは2026年に中国，南京で開催される。

各Commissionを越えた問題に対応し、公平、公正に調停等を議論するためのIMA Mediation committeeが設立された。
Web Masterの大藤会員らが中心となり、新webページへの移行が準備中。

第3回定例理事会（2023年8月24日）報告

学術会議の動向並びにIMA小委員会の組織が再編される旨報告された。

追加として、IMAのwebサイトが更新されること、役員候補の選考が行われており8月25日のcouncil meetingで検討される旨報告された。また、2024年と2026年の会合について報告された。

【6】教育普及委員会報告（林信太郎委員長）

第2回定例理事会（2023年5月21日）

中学教科書鉱物名表記問題を引き続き検討中。検討後、会長へ報告する。

会員の教育普及活動の調査を行っている。YouTubeで活動している事例が見られる。情報があれば提供願いたい

第3回定例理事会（2023年8月24日）

中学校教科書の記載について引き続き検討している。関連して、和文の鉱物名について和文誌編集委員会と共に組織的に検討するよう会長から依頼があった。

理事より、産総研が中心となって、地学用語のJIS規格が本年改訂されているので連携が可能ではないかとの発言があった。

【7】博物館委員会報告（坂野委員長）

第2回定例理事会（2023年5月21日）

1月に開催されたIMA博物館委員会等について報告された。

2028年のM&M11 は中国が立候補検討中。

博物館の定義や統合化デジタルカタログ、鉱物科学研究のデジタル化などについて討議された。

現理事会メンバー3名は再選される見通し。

世界鉱物年ロゴが東大総合博物館に掲示された。

【8】新鉱物・命名・分類委員会報告（門馬委員長）

第2回定例理事会（2023年5月21日）

通常通り申請、審議が進められている。

【9】研究部会「岩石－水相互作用」および WRI-17組織委員会報告（土屋 WRI-17組織委員長・理事）

第2回定例理事会（2023年5月21日）

岩石－水反応部会として報告 コロナの影響で2年遅れとなったが、WRI-17はほぼ完全対面で開催する。

現状約300件の申込みがある。350を超えることを期待。海外からの参加者もこれから増える見通し。

地震と水関連のテーマが多く、同位体関連が少ない傾向。

学生参加費の立替え制度あり。参加を促していただきたい。

【10】会員報告（阿部会員幹事・理事）

1. 2023年8月24日第3回定例理事会報告

2022年度中の会員増減 会員推移

802名(2023/5/20現在)－1(物故)－17(退会)+31(8/24入会承認)=815人(8/24現在)

		過去会員推移										2023年8月24日まで								
	2007 9/20	2008 9/21	2009 9/9	2010 9/23	2011 9/8	2012 9/19	2013 9/11	2014 9/18	2015 9/25	2016 9/24	2017 8/12	2017 9/12	2018 9/3	2019 8/2	2020 8/29	2021 8/28	2022 8/24	2022 12/22	2023 5/20	2023 8/24
一般 会員 (R)	892	886	865	846	840	702	686	672	652	628	598	602	583	565	554	541	524	523	522	503
シニア 会員 (RS)						139	142	148	154	171	175	175	178	175	176	172	168	167	164	168
学生 会員 (S)	78	76	78	68	88	103	94	87	88	83	81	83	84	90	72	88	78	79	76	95
永年 会員 (L)	39	36	33	37	39	37	40	41	36	34	35	35	35	36	32	32	28	28	30	39
名誉 会員 (H)	11	9	9	7	7	7	6	6	13	13	17	17	16	14	10	9	11	11	10	10
会員 合計	1020	1009	985	958	974	988	968	954	943	929	906	912	896	880	844	842	809	808	802	815

II. 2023年度（一般社団法人第8期）事業計画書及び収支予算案などの件

1. 2023年度事業計画紹介（大和田会長）

以下の本会の事業を第8期も継続して行ってまいります。

編集事業：岩石鉱物科学、Journal of Mineralogical and Petrological Sciencesの発行

行事事業：2024年年会(名古屋大学)の開催と2023年度定時社員総会の開催、一般普及講演、各賞の表彰事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

また、この1年間、執行部、理事は、学会事業の見直しを検討し、事務局と役員業務の改革を検討し、会員の皆様にお示したところです。第8期では、学会事業の見直しをさらに進め、学術活動に専念できる体制を固め、会員のみなならず、社会にも貢献する体制を拡充して参りたいと思います。

2. 2023年度収支予算紹介（栗林会計幹事）

2023年8月24日に開催された第3回定例理事会にて、2023年度会計収支予算が承認されましたので紹介します。

一般社団法人日本鉱物科学会2023年度 会計収支予算 理事会承認 2023年8月1日から2024年7月31日まで	
科 目	総会提出 2023年度予算
経常収益	
会費収入	6,577,000
一般会員	4,527,000
シニア会員	1,110,000
学生会員	380,000
賛助会員	260,000
前年度分会費	300,000
出版物収入	2,045,000
和文誌（GKK）収入	125,000
英文誌（JMPS）収入	1,920,000
バックナンバーその他	0
広告収入	0
年会収入	2,000,000
雑収入	150,000
経常収益計	10,772,000
前年度繰越金	5,474,923
経常収入合計	16,246,923
特定資産前年度繰越金	5,605,343
学会誌等刊行基金	3,477,108
学会賞・奨励賞・論文賞基金	381,691
渡邊萬次郎賞基金	48,054
国際学会・年会基金	1,698,490
収入合計	21,852,266
科 目	
経常費用	
刊行費	3,416,300
GKK電子ジャーナル費	470,000
GKK編集委託費	247,500
JMPS電子ジャーナル費	1,568,000
JMPS編集委託費	1,064,800
J-Stage-EM利用料	66,000
集会費	2,050,000
年会開催費	2,000,000
会議費	50,000
学会賞副賞	215,000
鉱物科学会賞記念品費	100,000
研究奨励賞記念品	40,000
応用鉱物科学賞	20,000
論文賞記念品	0
渡邊萬次郎賞記念品	5,000
発表賞支援金	50,000
Elements購読会費	1,700,000
管理費	3,425,000
支払報酬料	400,000
租税公課	2,000
法人税、住民税及び事業税	100,000
事務局委託費	1,600,000
会員システム利用料(SMOOSY)	528,000
臨時雇賃金	50,000
旅費交通費出張費	20,000
水道光熱費	25,000
地代家賃	70,000
通信費電話回線料	145,000
HP管理維持費	120,000
通信費郵送料	45,000
送金・支払手数料	200,000
消耗品費	70,000
鉱物ポスター印刷費	0
支払寄付金(地学オリンピック)	50,000
雑費	30,000
経常費用計	10,836,300
次年度繰越金合計	11,015,966
支出合計	21,852,266

決議事項

I. 第1号議案 2022年度（一般社団法人第7期）事業報告，決算承認の件

（大和田会長 説明：栗林会計幹事， 監査報告：下林監事）

上記に記載しました2022年度事業報告に続き，以下の決算についての説明をいたします。その後，監査報告をいたしますので，事業報告と決算について，ご審議をお願いします。

1. 2022年度（一般社団法人第7期）決算について（説明：栗林会計幹事）

(1) 貸借対照表

貸借対照表

令和5年7月31日現在

一般社団法人日本鉱物科学会

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,730,109	5,738,998	△ 1,008,889
未収金	1,531	0	1,531
前払費用	1,639,653	551,669	1,087,984
流動資産合計	6,371,293	6,290,667	80,626
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
学会賞等刊行基金	3,477,108	3,477,084	24
学会賞・奨励賞・論文賞基金	381,691	517,952	△ 136,261
渡邊萬次郎賞基金	48,054	83,169	△ 35,115
国際学会・年会基金	1,698,490	1,749,356	△ 50,866
特定資産合計	5,605,343	5,827,561	△ 222,218
固定資産合計	5,605,343	5,827,561	△ 222,218
資産合計	11,976,636	12,118,228	△ 141,592
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	527,670	55,480	472,190
前受会費	274,500	418,500	△ 144,000
預り金	0	80,009	△ 80,009
未払法人税等	94,200	109,300	△ 15,100
流動負債合計	896,370	663,289	233,081
負債合計	896,370	663,289	233,081
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
（うち特定資産への充当額）	(5,605,343)	(5,827,561)	(△ 222,218)
正味財産合計	11,080,266	11,454,939	△ 374,673
負債及び正味財産合計	11,976,636	12,118,228	△ 141,592

(2) 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和 4年 8月 1日から令和 5年 7月31日まで

一般社団法人日本植物科学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	6,460,500	7,522,142	△ 1,061,642
一般会員	4,494,500	4,643,500	△ 149,000
学生会員	309,000	318,500	△ 9,500
シニア会員	1,076,500	1,090,000	△ 13,500
永年・名誉会員	0	6,000	△ 6,000
購読会員	0	545,130	△ 545,130
賛助会員	260,000	260,000	0
前年度分会費	320,500	659,012	△ 338,512
出版物収入	1,824,602	1,519,400	305,202
和文誌(GKK)収入	48,500	65,600	△ 17,100
英文誌(JMPS)収入	1,776,102	1,402,200	373,902
バックナンバーその他	0	51,600	△ 51,600
広告収入	50,000	0	50,000
年会収入	3,237,036	1,919,000	1,318,036
参加費	1,593,500	1,685,000	△ 91,500
懇親会費	423,000	0	423,000
展示料収入	0	150,000	△ 150,000
受取助成金	1,220,536	80,000	1,140,536
キャンセル料	0	4,000	△ 4,000
雑収入	164,773	233,264	△ 68,491
著作権料収入	146,911	150,184	△ 3,273
受取利息	82	83	△ 1
編集作業収入	17,780	58,332	△ 40,552
寄付	0	24,665	△ 24,665
経常収益計	11,736,911	11,193,806	543,105
(2) 経常費用			
刊行費	2,304,577	3,000,813	△ 696,236
GKK電子ジャーナル費	471,240	620,848	△ 149,608
GKK編集委託費	86,020	96,151	△ 10,131
JMPS電子ジャーナル費	1,228,315	1,382,553	△ 154,238
JMPS編集委託費	441,650	441,804	△ 154
通信運搬費	0	352,294	△ 352,294
支払リース料	11,352	37,152	△ 25,800
英文校閲費	0	18,311	△ 18,311
J-Stage-EM利用料	66,000	51,700	14,300
集会費	3,329,065	1,091,329	2,237,736
年会開催費	3,253,136	1,029,729	2,223,407
会議費	75,929	61,600	14,329
学会賞副賞	170,500	146,928	23,572
植物学会賞記念品費	35,000	70,000	△ 35,000
研究奨励賞記念品	40,000	40,000	0
応用植物科学賞記念品	20,770	20,770	0
論文賞記念品	15,464	16,158	△ 694
渡邊萬次郎賞記念品	35,115	0	35,115
発表賞支援金	24,151	0	24,151
Elements購読会費	1,715,399	576,922	1,138,477
管理費	4,497,843	4,779,293	△ 281,450
支払報酬料	483,832	448,434	35,398
租税公課	2,100	0	2,100
給料手当	2,323,966	3,039,166	△ 715,200
法定福利費	194,183	445,367	△ 251,184
旅費交通費通動手当	146,480	155,040	△ 8,560
事務局委託費	0	0	0
会員システム利用料	176,000	0	176,000
臨時雇賃金	28,500	52,000	△ 23,500
旅費交通費出張費	53,040	0	53,040
水道光熱費	23,214	15,183	8,031
地代家賃	63,009	63,009	0
通信運搬費	212,448	263,644	△ 51,196
支払手数料	137,078	84,643	52,435
消耗品費	138,993	162,807	△ 23,814
ホームページ管理維持費	451,000	0	451,000
支払寄付金	50,000	50,000	0
雑費	14,000	0	14,000
経常費用計	12,017,384	9,595,285	2,422,099
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 280,473	1,598,521	△ 1,878,994
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 280,473	1,598,521	△ 1,878,994
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	△ 280,473	1,598,521	△ 1,878,994
法人税、住民税及び事業税	94,200	109,300	△ 15,100
当期一般正味財産増減額	△ 374,673	1,489,221	△ 1,863,894
一般正味財産期首残高	11,454,939	9,965,718	1,489,221
一般正味財産期末残高	11,080,266	11,454,939	△ 374,673
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	11,080,266	11,454,939	△ 374,673

(3) 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

一般社団法人日本鉱物科学会

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学会賞等刊行基金	3,477,084	24	0	3,477,108
学会賞・奨励賞・論文賞基金	517,952	4	136,265	381,691
渡邊萬次郎賞基金	83,169	0	35,115	48,054
国際学会・年会基金	1,749,356	14	50,880	1,698,490
小 計	5,827,561	42	222,260	5,605,343
合 計	5,827,561	42	222,260	5,605,343

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学会賞等刊行基金	3,477,108	(0)	(3,477,108)	(0)
学会賞・奨励賞・論文賞基金	381,691	(0)	(381,691)	(0)
渡邊萬次郎賞基金	48,054	(0)	(48,054)	(0)
国際学会・年会基金	1,698,490	(0)	(1,698,490)	(0)
小 計	5,605,343	(0)	(5,605,343)	(0)
合 計	5,605,343	(0)	(5,605,343)	(0)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
コンベンション開催補助金	新潟観光コンベンション協会	0	398,000	398,000	0	
新潟県コンベンション開催費補助金	新潟県	0	796,000	796,000	0	
感染症予防対策支援助成金	新潟観光コンベンション協会	0	26,536	26,536	0	
合 計		0	1,220,536	1,220,536	0	

(4) 附属明細書

附属明細書

一般社団法人日本鉱物科学会

1. 特定資産の明細

特定資産については財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

該当なし。

2. 監査報告（下林監事）


次頁の監査報告書の通り。

閉会宣言

監査報告書

令和5年(2023年)8月24日

一般社団法人日本鉱物科学会
代表理事(会長) 大和田 正明 殿
代表理事(副会長) 井上 徹 殿

一般社団法人日本鉱物科学会
監事 下林 典正 

私監事は、2022年(令和4年)8月1日から2023年(令和5年)7月31日までの一般社団法人日本鉱物科学会第7期事業年度における会計及び業務の監査を行いました。
その結果につき次の通り報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続きを用いて計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその付属明細書の適正性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の方向を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、理事の業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 計算書類及び付属明細書は、一般社団法人日本鉱物科学会の財政及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い一般社団法人日本鉱物科学会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の業務の執行に関し、不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

各賞授賞式（大和田会長）

【1】2022年度日本鉱物科学会賞表彰

第27回受賞者：山口 亮 会員（国立極地研究所）

業績題目：「初期太陽系における分化天体の進化に関する鉱物科学的研究」

第28回受賞者：芳野 極 会員（岡山大学惑星物質研究所）

業績題目：「地球惑星内部物質の電気伝導度に基づく核及びマントルダイナミクスの研究」

【2】渡邊萬次郎賞表彰

第39回受賞者：豊 遙秋 永年会員

【3】2022年度日本鉱物科学会研究奨励賞表彰

第33回受賞者：西山 直毅 会員（産業技術総合研究所地質調査総合センター）

研究対象：「地質媒体中の物質移動と岩石-水相互作用に関する研究」

第34回受賞者：松本 徹 会員（京都大学白眉センター/大学院理学研究科）

研究対象：「地球外試料から探る宇宙風化に伴う固体物質の進化」

【4】2022年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞表彰

第15回受賞者：杉浦 悠紀 会員（産業技術総合研究所）

受賞題目：「術後感染症防止機構を付与した骨再生材料の開発」

【5】櫻井賞表彰

第46回受賞者：富岡 尚敬 会員（海洋研究開発機構）

対象鉱物：秋本石

【6】2022年度JMPS学生論文賞受賞論文表彰

第15回受賞論文：Crystal structure of nesquehonite, $\text{MgCO}_3 \cdot 3\text{H}(\text{D})_2\text{O}$ by neutron diffraction and effect of pH on structural formulas of nesquehonite. JMPS v.116-2, p.96-103, 2021

Authors: Gen-ichiro YAMAMOTO, Atsushi KYONO, Jun ABE, Asami SANO-FURUKAWA and Takanori HATTORI

受賞者：山本 弦一郎（投稿時：筑波大・D1）

第16回受賞論文：Tracht change of groundmass pyroxene crystals in decompression experiments. JMPS v.117, 003 (6p), 2022

Authors: Shota H. OKUMURA, Satoshi OKUMURA and Akira MIYAKE

受賞者：奥村 翔太（投稿時：京都大・D2）

【7】日本鉱物科学会表彰

受賞者：宮地 増美 殿

一般社団法人日本鉱物科学会
2022年度 第3回定例理事会 議事録（概要）

【1】 招集年月日：2023年8月8日(火)

【2】 開催年月日及び時刻：2023年8月24日(木) 15時00分～17時08分

【3】 開催場所：山口大学理学部 大和田研究室
753-8512 山口市吉田1677-1
(ZOOM Meetingによるオンライン会議)

【4】 理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】 出席理事数：20名

会長 大和田正明，副会長 井上 徹，阿部なつ江，池田 剛，磯部博志，大藤弘明，
鍵 裕之，亀井淳志，川本竜彦，興野 純，栗林貴弘，黒澤正紀，高澤栄一，辻森 樹，
富岡尚敬，永井隆哉，永嶋真理子，坂野靖行，M.Satish-Kumar，三宅 亮

【6】 欠席理事数：2名 河上哲生，土屋範芳

【7】 出席監事：下林典正

【8】 オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：片山郁夫 行事幹事，瀬戸雄介 Elements幹事，篠田圭司 2023年年会運営委員会委員長，道
林克禎 2024年年会運営委員会委員長，西原 遊 JpGU2023プログラム正委員，福士圭介 同
副委員，林信太郎 教育普及委員会委員長，大谷栄治名誉会員（西山IMA小委員会委員長・
学術会議連携会員代理），瀧川晶 研究発表優秀賞選考委員会委員長

欠席：門馬綱一 新鉱物・命名・分類委員会委員長，西山忠男 IMA小委員会委員長・学術会議連
携会員，

【9】 議事概要

大和田理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，磯部博志理事が議長に選出された。
次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事20名の出席を確認したので，定
款30条により理事会が成立した。このことを受け，磯部議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を
用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即
時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2022
年度第3回定例理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で磯部博志理事が書記として選出された。

I. 報告事項

1. 会長・副会長の職務執行報告（大和田会長，井上副会長）

会長より，学会の状況について簡単な報告があった．個別の業務は各担当者に一任していることから，議事次第に沿って各担当者から報告を行う旨，発言があった．

2. 会員報告（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より2022年度第2回定例理事会(2023年5月20日)以降の会員動静について以下の通り報告がなされた．

物故会員1名，退会者17名（シニア会員2名，一般会員9名，学生会員6名）

この結果，2023年8月24日現在の会員数は

802名(2023/5/20定例理事会)-1(物故)-17(退会)=784名 となった．

なお，31名の入会申込みに対し，この後審議を行う．

また，2年間会費未納会員2名について，会員停止予定であることが報告された．（うち1名は，報告前に納付したとのことである）

3. 広報報告（大藤広報幹事・理事）

大藤広報幹事より，広報活動について以下の通り報告がなされた．

(1) 会員へのML送信

事務局の宮地さんおよび猪狩さんより，2022年9月の総会以降，現在までに12件の会員宛メールニュースを配信いただいた．内容は，学会関連連絡（学術雑誌の刊行，オンライン会員管理システム運用，HPリニューアル，Elementsオンライン購読への変更，2023年年会情報など）のほか，公募情報，関連学会の催し等の案内など．

(2) 学会新ホームページ，公式SNS，Youtubeを通じた広報活動

学会ホームページのリニューアルを行った．新HPはWordPress形式で，今後は広報委員会を中心に更新・運営を対応する（HPのコア部分やサーバー，アカウントの保守管理は株式会社アクセライトと年次契約）．旧ページからほとんどのコンテンツを移行し，英語版ページも整備済み．WordPress形式となり，簡便かつ迅速に更新，情報発信ができるようになり，今後も拡充して行く予定．また，公式SNS（twitter，Facebook）でも情報発信を行い，公式Youtubeチャンネルにも一般・入門者向けや教材用の動画を追加・公開した（現在21本の動画を公開中）．

(3) 2023年連合大会で現地ブース出展

JpGU2023において4年振りに現地（幕張メッセ）でブース展示を行った．鉱物標本の展示を行い，クイズラリーにも参加し景品としてヒスイ輝石とスピネルの結晶を提供した．

(4) 取材申込みの対応

マスメディア，民間団体などからの問い合わせや取材申込みに対して，適当な会員に対応をお願いするなどの取り次ぎ・調整を行った．（共同通信社など）

4. 渉外報告（永島渉外幹事・理事）

特に報告事項なし．

5. 和文誌編集報告（高澤和文誌幹事・理事）

高澤和文誌幹事より，2023年5月20日第2回定例理事会報告以降の状況が議事資料に沿って報告された．

GKK編集委員会（書面会議）において、本文中のカラー文字の使用について審議され追加費用を設定することが承認され、投稿規定に文言が追加されることが報告された。

6. 英文誌編集報告（M. Satish-Kumar英文誌幹事・理事）

M. Satish-Kumar英文誌幹事より、2023年5月20日第2回定例理事会報告以降の編集状況が議事資料に沿って報告された。

7. 庶務報告（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事より、2023年5月20日第2回定例理事会報告以降の状況について以下の報告がなされた。

- 1) 2022年度第2回定例理事会議事録作成、第3回定例理事会(2023/08/24：WEB会議)日程調整、開催準備、WEB会議準備、資料作成
- 2) 2022年度定時総会開催日時、準備、ZOOM設定、総会資料作成、場所、開催方法などの検討と準備、受賞者へ受賞通知、授賞式記念品準備、各委員会開催案内
- 3) 会員へのメールニュース連絡
- 4) 後援、共催、協賛対応
- 5) 令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者推薦依頼、推薦書作成、学術会議からの依頼など対応
- 6) 一般社団法人定時社員総会「招集通知」の電磁的方法（メール）採用への同意お願い
- 7) 事務局委託、現事務局からの引継など

8. 行事・年会報告（片山行事幹事、篠田2023年LOC委員長、道林2024年LOC委員長）

片山行事幹事より、2023年年会へ182件の発表申込みがあり、昨年の年会より8件増であること、ならびに、企業の出展が現地3件、バナーによるものが4件ある旨が報告された。現在オンラインでの登録受付中であり、受付済みの方が発表者の半数程度であるため、追ってリマインドを行う。本年はYMO企画が復活している。加えて、学生と企業との交流企画および一般普及講演が企画されている。

瀬戸2023年LOC副委員長より、LOCとして順調に準備が進んでいる旨報告された。

道林2024年LOC委員長より、2024年年会について、会場を1年前に予約する予定である旨、報告された。

9. Elements報告（大和田会長、瀬戸Elements幹事）

大和田会長より、Elements誌の状況について、電子媒体のみでの配布へ切り換えていく方向である旨報告された。

瀬戸Elements幹事より、Society News原稿は順調であること、JAMS会員の住所変更とオンライン配布への切替手続き、発行スケジュールの回復状況について報告された。本年中には発行の遅れは回復する見通しとのこと。

10. 将来企画委員会報告（井上委員長・副会長）

寄付金の募集が学会ホームページに掲載された。

科研費「研究成果公開促進費—国際情報発信強化B」について、現在申請書類を準備中である。

11. 地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）

特に報告事項なし。

12. IMA小委員会・学術会議報告（西山IMA小委員会委員長 代理：大谷栄治名誉会員）

議事資料に沿って、学術会議の動向並びにIMA小委員会の組織が再編される旨、報告された。

追加として、IMAのwebサイトが更新されること、役員候補の選考が行われており8月25日の council meetingで検討される旨、報告された。また、2024年及び2026年の会合について報告された。

13. JpGU 2022年学会選出プログラム委員報告（西原委員長）

特に報告事項なし。

14. 新鉱物・命名・分類委員会報告(門馬委員長)

特に報告事項なし。

15. 教育普及委員会報告（林委員長）

中学校教科書の記載について引き続き検討している。関連して、和文の鉱物名について和文誌編集委員会とともに組織的に検討するよう大和田会長から依頼があった。

辻森理事より、産総研が中心となって、地学用語のJIS規格が本年改訂されているので連携が可能ではないかとの発言があった。

16. 博物館委員会報告（坂野委員長）

特に報告事項なし。

17. その他の報告

磯部庶務幹事より、定時総会、2023年度第1回定例理事会への出席依頼があった。

II. 審議事項

第1号議案 新入会承認（阿部幹事・理事）

議事資料の通り、一般会員3名、学生会員28名の入会申請が紹介された。うち、一般会員1名は紹介者がなく、自己紹介文による申込みであったため、自己紹介文を提示した。審議の結果、31名すべて異議なく入会が承認された。この結果、2023年8月24日現在の会員数総数は815名（内訳一般会員503名、シニア会員168名、学生会員95名、永年会員39名、名誉会員10名）で、2022年8月24日の定例理事会後より6名の増加となった。

第2号議案 2023年度補正収支予算案の審議（栗林会計幹事・理事）

栗林会計幹事より、議事資料に沿って2023年度収支予算の補正について提案され、資料の一部誤記載について修正の上、異議無く承認された。

来年度はおよそ10万円の支出超過を予定している。財政状況は改善したが、来年度以降、さらに検討する必要がある旨付言があった。

第3号議案 2022年度（一般社団法人第7期）決算及び事業報告の審議

（大和田会長、井上副会長、栗林会計幹事、磯部庶務幹事、下林監事）

議事資料「2022年度総会資料、決算及び事業報告」に基づき、説明、審議を行った。

1. 決算説明：2022年度（第7期）決算について（栗林会計幹事）
2. 事業説明：2022年度（第7期）事業報告について（総会資料）（大和田会長、磯部庶務幹事）
3. 監査報告：（下林監事）
4. 審議：2022年度（第7期）決算及び事業報告（大和田会長）

これら説明，報告に基づき，本議案は異議無く承認された。

第4号議案 定時社員総会招集のための審議（大和田会長・井上副会長）

議事資料に基づき，定時総会の開催日及び場所，目的事項（報告事項，決議事項）について説明され，審議の上，異議無く承認された。

第5号議案 社員総会への「電磁的方法(電子メールなど，FAX)」による代理人による議決権の行使（委任状）と書面による議決権の行使について（磯部庶務幹事・理事）

議事資料に基づき，定款に規定されている，社員総会に出席しない社員による「代理人による議決権の行使(委任状)と書面による議決権の行使」について，電磁的方法(電子メールなど，FAX)」による議決権の行使を認めることとすることが提案され，異議無く承認された。

第6号議案 研究発表優秀賞選考委員会委員の任命および交代について（瀧川委員長、磯部庶務幹事）

議事資料に基づき，瀧川委員長より1期目委員5名の推薦並びに2期目委員のうち1名の交代について提案され，異議無く承認された。

研究発表優秀賞選考委員会

新規1期目5名 秋澤紀克(副委員長:委員長指名)，瀨瀬佑衣，延寿聡美，松本恵，苗村康輔
継続2期目5名 瀧川晶(委員長)，田阪美樹，白勢洋平，伊神洋平，足立達朗（交代委員）

第7号議案 会計幹事，副幹事の交代について（大和田会長）

2023年度において，現会計副幹事の富岡尚敬 理事を会計幹事に，現会計幹事の栗林貴弘 理事を会計副幹事に任命することが提案され，異議なく承認された。

第8号議案 日本鉱物科学会特別功労賞授与について（大和田会長）

大和田会長より，長年にわたり本会運営に多大なる貢献を頂き，本年3月末をもって退職された宮地増美様に対し，日本鉱物科学会特別功労賞を贈呈することが提案された。

審議の結果，日本鉱物科学会運営細則26条1項に規定されている「学会活動への特別な貢献」に対する表彰として，ガイドラインG項に規定されている手続きに沿って，日本鉱物科学会表彰を授与することが修正提案された。

本議案採決時の出席理事18名全員の賛成により，本修正提案は承認された。

その他審議事項

特になし。

会議の最後に，JpGU会期中のYMO活動への支援のため，部屋の利用料等が必要となる場合は学会会計から支出することを検討して欲しい旨発言があった。

以上